



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ワタミ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7522 URL <https://www.watami.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 渡邊 美樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 渡邊 将也 TEL 03-5737-2288
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,691	10.3	1,020	-	2,045	62.7	1,782	101.9
2023年3月期第1四半期	17,844	27.6	△295	-	1,256	-	882	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,856百万円 (7.6%) 2023年3月期第1四半期 1,725百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	44.58	-
2023年3月期第1四半期	21.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	54,846	18,882	34.2	156.39
2023年3月期	57,050	17,807	30.9	129.40

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 18,732百万円 2023年3月期 17,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	7.50	7.50
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 2024年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	40,000	2.4	1,500	62.5	2,100	△49.8	1,700	△47.4	42.52
通期	82,300	5.6	2,650	79.7	2,850	△26.6	2,250	34.4	56.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	42,684,880株	2023年3月期	42,684,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,703,107株	2023年3月期	2,700,557株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	39,982,661株	2023年3月期1Q	40,574,357株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	4,000,000.00	4,000,000.00
2024年3月期	0.00				
2024年3月期（予想）		0.00	0.00	4,000,000.00	4,000,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに回復傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから行動制限がなくなり、国内消費はコロナ前の水準に向け徐々に回復しつつあります。一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う原材料価格の高騰や、急速な円安が助長する物価高、人手不足による人件費の増加が続くなど、依然として不透明な状況であります。飲食業界全体もこのような経済環境を反映し、客数増加による売上増加の一方、原価、人件費等の経費が増加するなど、依然として厳しい外部環境にあり、国外も同様の状況です。

当社グループはこのような環境下においても、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①国内外食事業

国内外食事業におきましては、2店舗の新規出店と4店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は345店舗となりました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから行動制限がなくなり、コロナ前の水準に向け徐々に回復しつつある中、国内外食事業における売上高は7,371百万円（前年同期比126.5%）、セグメント利益は312百万円（前年同期は582百万円の損失）となりました。

②宅食事業

宅食事業におきましては、当四半期連結会計期間末の営業拠点数は525ヶ所となりました。調理済み商品の累計お届け数は15,341千食（前年同期比97.6%）となっております。調理済み商品のお届け数が前年並みとなりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから、中食需要が減少したため、減収減益となっております。

その結果、宅食事業における売上高は9,984百万円（前年同期比96.4%）、セグメント利益は1,034百万円（前年同期比78.4%）となりました。

③海外外食事業

海外外食事業におきましては、1店舗の新規出店を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は51店舗となりました。新型コロナウイルス感染症の収束による影響により、増収増益となっております。

その結果、海外外食事業における売上高は1,642百万円（前年同期比191.0%）、セグメント利益は19百万円（前年同期は383百万円の損失）となりました。

④環境事業

環境事業におきましては、電力小売事業を中心に展開しております。減収となりましたが、仕入単価の減少により、増益となりました。その結果、売上高は514百万円（前年同期比85.3%）、セグメント利益は152百万円（前年同期は57百万円の損失）となりました。

⑤農業

農業におきましては、有機農産物の生産、酪農畜産を行っております。売上高は105百万円（前年同期比62.0%）、セグメント損失は94百万円（前年同期は97百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの成果は、新型コロナウイルス感染症の収束による行動制限の撤廃により、国内外食事業、海外外食事業における増収が進み、売上高は19,691百万円（前年同期比110.3%）となり、営業利益は1,020百万円（前年同期は295百万円の損失）、経常利益は2,045百万円（前年同期比162.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,782百万円（前年同期比201.9%）となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に変更されたことから行動制限がなくなり、コロナ前の水準に向け国内外食事業は徐々に回復し、売上高の増加及びこれまで進めてきた生産性向上、固定費削減により、着実に業績は回復してきております。

様々な経済環境の変化、顧客ニーズの変化に対応するべく、「ミライザカ」、「鳥メロ」などの「居酒屋業態」、「焼肉の和民」、「かみむら牧場」などの「焼肉業態」、「から揚げの天才」、「オリーブチキン」などの「テイクアウト・デリバリー業態」、「TGIフライデーズ」等「ハレの場」を提供する業態など様々な業態を展開し、成長基盤の整備を強力に進めた結果、増収増益となりました。

宅食事業においては、テレビショッピング放映による広範囲にわたる購買層の宅食需要の取込、健康意識の高まりはあるものの、コロナ禍の外出自粛の撤廃による宅配需要の減少により、調理済み商品の累計お届け数は15,341千食（前年同期比97.6%）となっており、減収減益となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比2,204百万円減少の54,846百万円となりました。流動資産は、前期末比4,649百万円減少の37,346百万円となりました。投資有価証券の購入による影響であります。固定資産は、前期末比2,445百万円増加の17,500百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、新規出店及び国内の外食店舗設備等の減価償却費等により前期末比23百万円増加の6,336百万円となりました。無形固定資産は、ソフトウェアの取得及び償却等により前期末比68百万円減少の1,103百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の購入、差入保証金の増加等により前期末比2,489百万円増加の10,059百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比3,278百万円減少の35,964百万円となりました。流動負債は、買掛金等の減少及び短期借入金の返済により前期末比1,788百万円減少の15,801百万円、固定負債は、長期借入金の返済や長期リース債務の減少等により前期末比1,490百万円減少の20,163百万円となりました。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金、社債及びリース債務の合計額）は、前期末比1,817百万円減少の22,864百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、配当による資本剰余金の減少779百万円及び利益剰余金の増加1,782百万円並びに円安等による為替換算調整勘定の増加39百万円等により、前期末比1,074百万円増加の18,882百万円となりました。これらの要因により、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.2%と改善するとともに、当座比率は195.9%及び流動比率は236.4%と一定の財務安全性の水準を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました数値から修正しております。なお、詳細につきましては、2023年8月10日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,505	27,950
売掛金及び契約資産	3,134	3,035
有価証券	4,204	3,260
商品及び製品	474	468
仕掛品	449	442
原材料及び貯蔵品	500	478
その他	1,743	1,725
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	41,995	37,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,686	3,711
機械装置及び運搬具	821	799
土地	336	336
リース資産	740	593
建設仮勘定	148	290
その他	579	604
有形固定資産合計	6,313	6,336
無形固定資産	1,171	1,103
投資その他の資産		
投資有価証券	2,527	4,791
差入保証金	4,395	4,648
投資固定資産	0	0
その他	949	923
貸倒引当金	△302	△304
投資その他の資産合計	7,570	10,059
固定資産合計	15,054	17,500
資産合計	57,050	54,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,237	2,922
1年内償還予定の社債	100	100
短期借入金	5,726	5,269
リース債務	560	524
未払金	4,189	3,804
未払法人税等	616	328
未払費用	1,712	1,695
賞与引当金	606	279
役員賞与引当金	24	-
販売促進引当金	12	26
その他	803	849
流動負債合計	17,589	15,801
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	17,227	16,130
リース債務	1,016	790
資産除去債務	1,894	1,653
その他	1,464	1,539
固定負債合計	21,653	20,163
負債合計	39,243	35,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,910	4,910
資本剰余金	17,019	16,239
利益剰余金	△3,589	△1,807
自己株式	△3,738	△3,738
株主資本合計	14,601	15,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	45
為替換算調整勘定	3,043	3,082
その他の包括利益累計額合計	3,052	3,128
新株予約権	21	20
非支配株主持分	131	129
純資産合計	17,807	18,882
負債純資産合計	57,050	54,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	17,844	19,691
売上原価	8,115	8,241
売上総利益	9,729	11,450
販売費及び一般管理費	10,025	10,429
営業利益又は営業損失(△)	△295	1,020
営業外収益		
受取利息	3	97
有価証券利息	-	54
設備賃貸収入	26	29
助成金収入	649	14
為替差益	947	900
雑収入	87	58
営業外収益合計	1,714	1,154
営業外費用		
支払利息	68	78
設備賃貸費用	25	26
持分法による投資損失	0	7
雑損失	67	16
営業外費用合計	161	129
経常利益	1,256	2,045
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	-	36
特別損失合計	-	37
税金等調整前四半期純利益	1,256	2,007
法人税、住民税及び事業税	437	213
法人税等調整額	△47	14
法人税等合計	389	227
四半期純利益	867	1,780
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	882	1,782

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	867	1,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	36
為替換算調整勘定	859	39
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	-
その他の包括利益合計	857	76
四半期包括利益	1,725	1,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,740	1,858
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,256	2,007
減価償却費	498	408
減損損失	-	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△350
販売促進引当金の増減額(△は減少)	9	13
受取利息及び受取配当金	△3	△152
支払利息	68	78
為替差損益(△は益)	△972	△826
固定資産除却損	-	0
差入保証金償却額	8	11
売上債権の増減額(△は増加)	1,103	82
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5	36
立替金の増減額(△は増加)	60	△7
未収入金の増減額(△は増加)	51	52
未収消費税等の増減額(△は増加)	△10	△4
仕入債務の増減額(△は減少)	△107	△316
未払金の増減額(△は減少)	25	120
未払費用の増減額(△は減少)	61	△16
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94	△409
預り金の増減額(△は減少)	99	10
その他	△162	△459
小計	1,889	313
利息及び配当金の受取額	3	206
利息の支払額	△70	△79
法人税等の支払額	△493	△560
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,328	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290	△492
有形固定資産の売却による収入	2	-
無形固定資産の取得による支出	△34	△38
資産除去債務の履行による支出	△149	△15
定期預金の預入による支出	△5,306	△14,350
定期預金の払戻による収入	5,304	15,863
投資有価証券の取得による支出	-	△1,795
投資有価証券の償還による収入	-	1,198
差入保証金の差入による支出	△38	△352
差入保証金の回収による収入	215	54
貸付けによる支出	△15	△4
貸付金の回収による収入	15	9
その他	△46	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△341	82
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1	-
長期借入金の返済による支出	△1,481	△1,556
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△270	△155
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△364	△751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△2,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	204	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△923	△2,495
現金及び現金同等物の期首残高	10,971	11,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,048	9,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
日本	5,778	10,355	-	602	169	16,907	27	16,934	-	16,934
東南アジア	-	-	859	-	-	859	-	859	-	859
米国	50	-	-	-	-	50	-	50	-	50
顧客との契約から 生じる収益	5,829	10,355	859	602	169	17,817	27	17,844	-	17,844
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	5,829	10,355	859	602	169	17,817	27	17,844	-	17,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	-	-	71	25	97	45	143	△143	-
計	5,830	10,355	859	674	194	17,914	73	17,988	△143	17,844
セグメント利益又は 損失(△)	△582	1,320	△383	△57	△97	200	△11	188	△484	△295

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	200
その他	△11
全社費用(注)	△484
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△295

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

記載すべき事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
日本	7,302	9,984	-	514	105	17,906	73	17,980	-	17,980
東南アジア	-	-	1,642	-	-	1,642	-	1,642	-	1,642
米国	69	-	-	-	-	69	-	69	-	69
顧客との契約から 生じる収益	7,371	9,984	1,642	514	105	19,618	73	19,691	-	19,691
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,371	9,984	1,642	514	105	19,618	73	19,691	-	19,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	-	69	14	84	162	246	△246	-
計	7,371	9,984	1,642	583	119	19,702	235	19,938	△246	19,691
セグメント利益又は 損失(△)	312	1,034	19	152	△94	1,424	33	1,457	△437	1,020

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,424
その他	33
全社費用(注)	△437
四半期連結損益計算書の営業利益	1,020

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を「国内外食」セグメントにおいて18百万円、「海外外食」セグメントにおいて18百万円、それぞれ計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。